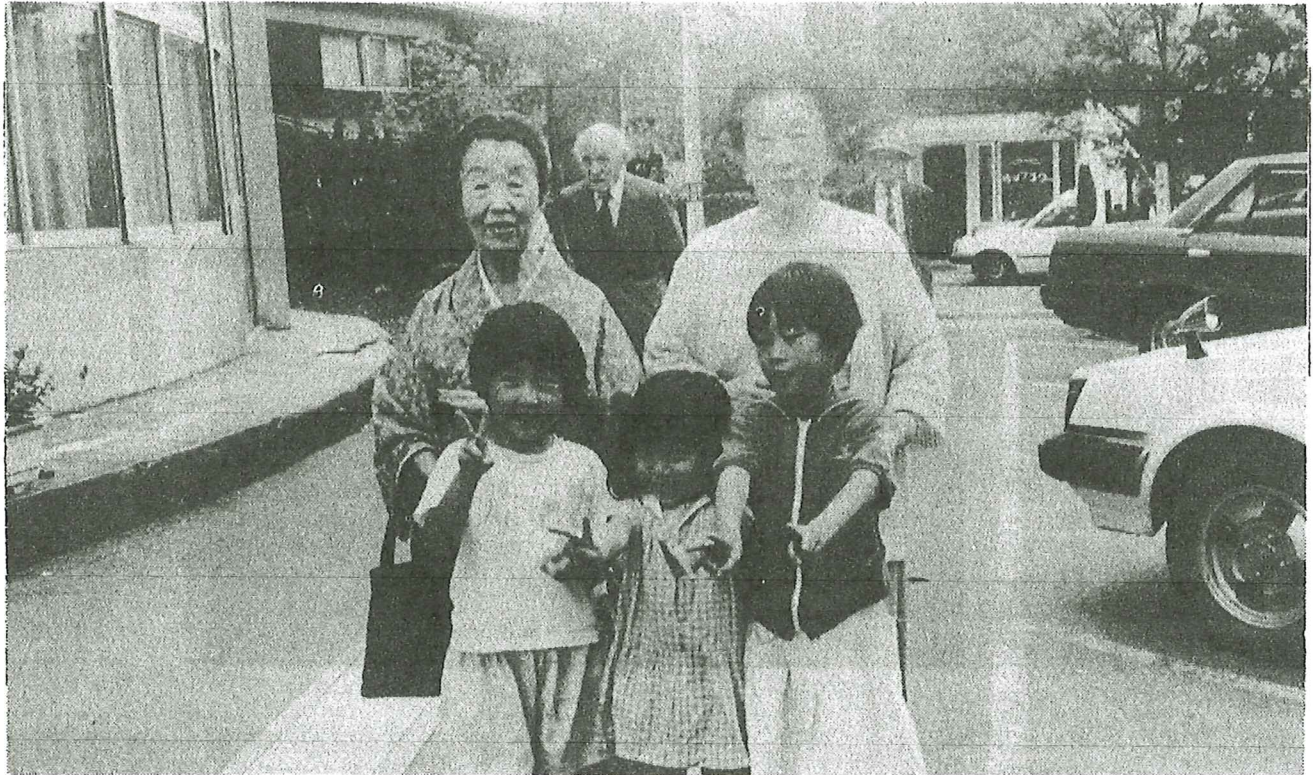


築山社福協だより

第 9 号
平 元 10. 31
築山地区社会福祉協議会
会長 東海林 正 隆



(敬老会受付において)

“ 痛 快 ”

60 才
たらいらっしやいと言われ
ます。たら孫が寂しがると断り

70 才
たらいらっしやいと言われ
くたらゲートボールが楽し
くと断ります。

80 才
たらいらっしやいと言われ
ります。たら夫婦で海外旅行と断

90 才
たらいらっしやいと言われ
たら青春を満喫している
と断ります。

100 才
たらいらっしやいと言われ
けたら忘れてましたととぼ

市制一〇〇周年

記念築山地区

イベントを終えて



築山イベント一〇〇
推進委員会事務局長
七尾 四郎

ご承知のとおり本年は、市制一〇〇周年という輝かしい年を迎え、この大きな節目を踏まえて更に二十一世紀にむけて飛躍する秋田市を創造する契機とするため、有意義な記念事業を行うことになり、当地域においても皆んなが参加できるふれあいイベントを計画しました。

おかげさまで区内全市民並びに関係諸団体のご支援ご協力により極めて有意義に、然も盛大裡に滞りなく終らせて頂くことができました。より厚く御礼申し上げます。

簡単にイベントを紹介しますと、そのひとつたる九月三日榊山公園広場(旧南中跡)にエゾマツの植樹を区内の町内会長さん始め来賓各位、そして二十一世紀を担う築山小学校生徒も参加して行なわれました。この植樹が今後私達の憩

の場のシンボルとして五十年後、百年後もすくすくと伸び、築山の住民を見守ってくれることを願っています。



次に、九月三日榊山コミュニティセンターにおいて築山地区町内会長連絡協議会設立総会を開催し、規約、役員を決定し、いよいよ発足することになりました。

全市の学区内には町内会の結成は勿論のこと、その連合体組織まで

も出来ている中で、当学区だけは市内でも誇り得る伝統の地区でありながらいろいろの事情でおくれおりました。

この組織の結成で、町内会長の交流の機会と場ができ、親睦と情報交換や、友好を図ることは勿論で、今後の町内の自治運営と活動が期待されます。

学区内六十八町内の連帯意識も更に強くなることでしようし、地域の振興発展の核となるよう願うとともに、地域の皆さんの絶やまない激励とご支援を望んでやみません。なお、新役員は次のとおりです。

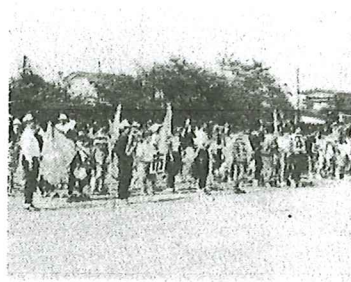
会長	富樫重次郎	宮田
副会長	鈴木才次郎	百石橋
事務局長	高桑 博	榊山本新町下町
次長	佐々木洋吉	榊山下浜
会計監査	渡辺 一男	石塚新町
幹事	高橋 金次	古川新町
	松本 秋次	築地窪町
	斎藤正二郎	愛宕下丁
	高橋 秀雄	築地中町
	田中 重徳	栄ノ町
	樋渡 久孝	本町下丁
		太田町



次に九月十七日実施の市制百周年記念築山地区大運動会は、晴天に恵まれ、小ちゃんお子さんから高齢者に至るまで約一、二〇〇名が築小グラウンドに集い、古川新町の萬さん一家三代揃ってのうるわしいふれあい選手宣誓からスタートし、十五種目の競技が行なわれました。競技は終始明るく楽しく進められる一方、婦人会の踊りの輪に一般観客も積極的に参加し、グラウンドいっぱいの人で埋まった。町内が陣とった場所などで埋まった。談笑しながら昔ながらの思い出に浸っての昼食をとり、昼からの

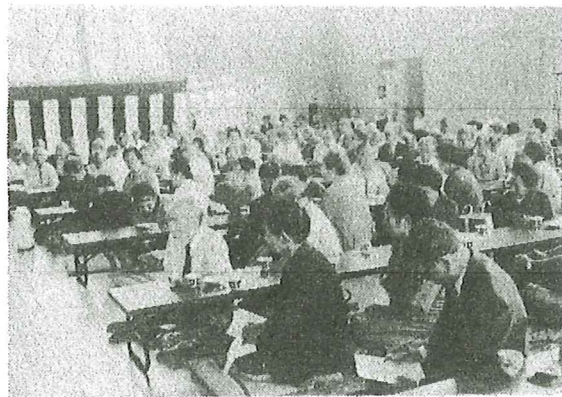
仮装行列では職域毎に工夫されたアイデアとユーモアたっぷり演じ出には観客の目を引き、ひとときの清涼剤でありました。

今回のイベントを総括してみますと、多くの方々と交流を深め、連帯意識を高めたことなど有形無形の要素があり、わが築山の発展振興につながるものと確信しております、特に萬さん一家の選手宣誓などは最近にない大ヒットであり参加者に与えた感動は深いものでした。



敬老会

生きいき、健やか、みんなで築こう明るい長寿社会を



九月十五日敬老の日榑山コミュニティセンター体育館で盛大に開催されました。当地区には敬老会の招待対象者(数え年75才以上)の方は八二二名おりますが、当日の参加者は一四〇名でした。集まった皆さんは元気に笑顔でお互いに話しかけあって、なごやかな気分いっぱいでした。

東海林会長から心温まるお祝いの挨拶、高田秋田市長からのメッセージ、来賓の佐藤築山小学校教頭先生のユーモアな祝辞などがあ

ってから楽しい祝宴に入りました。婦人会の踊りと飛び入り演芸やらで会場はいやが上にも盛り上り心ゆくまで交流を深め、来年の再会を約束しあって元気に万才三唱し帰路につきました。

なお、当地区の85才以上の方々は一七一人、そのうち90才以上が一九人、最高齢の方は95才の策町貝塚チエさんです。

この開催にあたり毎年民生委員婦人会の方々には大変なご協力、ご奉仕をいただき皆さんで感謝いたします。

築山児童館の運営について



運営委員長
野尻 滋

昭和四八年二月二十七日、築山児童館の開館式を行ってから一六年になりました。その間地域の皆様からのご協力ご援助によりまして今日まで運営して参りました。心から感謝申しあげる次第です。

さて児童館の運営方向が今年から変わりまして、児童厚生員二名は非常勤となり、直接社会教育課の方と連絡をとりながら児童館を管理することになりました。本館で

鎌田敬一さん
小泉モトさ

んが厚生員として仕事をしてくれ
ることになり感謝しています。

開館日は原則として次のよう
になりました。

- ① 月曜日から土曜日までは午前
一時半から午後五時半まで。
 - ② 小学校の長期休業期間(春、
夏、冬休み)中は午前八時から
午後五時半までとします。
- 休館日は

- ① 日曜日、国民の祝日、一月二
日、三日、一月二十九日、三十一
日まで
- ② 夏休み八月一四日、一六日と
します。

厚生員の仕事は昨年までのよう
に、児童館利用の子どもに、遊び
を通しての集団または個別の指導
と保護をすること、児童館の管理
保全などとなっています。

「児童育成クラブ」(ボランティア活動)も昨年通り行っていま
す。代表者は

梁田洋子さん

です。三〇余名の方々が交代で、
地域の子どもたちに魅力のある安
全な遊びを提供したり、健やかな
児童の育成をはかるために活動を
行っています。

対象は小学校一年〜三年生までですが上級生でも受付けています
このよう
な活動に関心のある方は代表者へどしどし申し込んで活動してくだ
さるよう期待していま
す。



(児童館利用の子供達と厚生員)

社会福祉功労者の 表彰の紹介

次の方々が永年にわたり民生児童委員として、民生の安定、児童福祉の向上と明るい地域社会づくりに貢献し、その功績顕著であつたとしてそれぞれの表彰を受けられました。

●秋田県知事表彰

佐々木ミエ

●秋田市長表彰

京屋 妙子

家のおばあちゃん



築山小学校四年
佐々木 正志

ぼくのおばあちゃんは今年七十才になります。

おばあちゃんは、やさしくて、あまり、おこりませんが、悪い事をしたときなどは、ものすごくおこられます。けれども、ぼくは、おばあちゃんが大好きです。

おばあちゃんは、ごはんを作ってくれたり、せんとくやそうじもしてくれれます。

ぼくがカサをわすれて雨がふつたときなどは、学校へもってきてくれます。でも、おばあちゃんは足をけがしてから、すっかりせいができなくなり、二階へ上がるのにもいたそうでした。お兄さんやお姉さんが、病院に行つて、薬をもつてきてくれたりしたので、今は、少しよくなったみたいです。ぼくも、少し、お手つだいをします。早くなおつてほしいと思います。ぼくの大好きなおばあちゃん、いつまでも元気でいてほしいと思います。

わたしの おじいちゃん



築山小学校五年
石塚 知子

わたしのおじいちゃんは今、七十才です。とても元気なのはいいのだけれど、外に出て歩かないので足がだんだん弱くなってきたようにみえます。

家の中ではテレビを見たり、横になつたり、わたし達の話を聞いてここにこしています。

わたしが一年生の時、おじいちゃんがおふるでひんけつをおこして救急車で病院に運ばれました。

その時は家族全員で心配しました。とこ屋に行く時は、わたしもついて行くのですが信号を見ないでわたる時もあるので横断歩道の所は手をつないで行きます。

家でもおばあちゃんはおじいちゃんの事を心配して、病院に連れて行つたりしてくれれます。そんなおばあちゃんを見て、わたしも、おじいちゃんにやれる事にできるだけやっであげようと思います。これからも、歩く練習を時々やっていつまでも、長生きして下さい。

善意の ご寄付

福祉活動に役立ててくださいと築山社福協に寄付がありました。当会ではご意志にそつて有効に活用させていただきます。ご芳志まことにありがとうございます。
(平成1・4・10・31まで)

香典返し

- 松田 秀雄様 五万円 (亡妻キヨさん)
- 佐々木昭男様 五万円 (亡母サクラさん)
- 篠木 幸男様 五万円 (亡養母キノさん)
- 泉谷 演朗様 参万円 (亡父順治さん)
- 軽部 俊一様 五万円 (亡父俊雄さん)
- 坂本 忠芳様 五万円 (亡母馨さん)
- 佐藤 萬年様 参万円 (亡父久司郎さん)
- 高桑 博様 五万円 (亡父武治さん)
- 後藤光太郎様 五万円 (亡妻タカさん)
- 篤志寄付
- 東海林正隆様 壹万円
- 北島 スエ様 参千円